

学校教育目標

じょうぶな子  
思いやりのある子  
よく考える子

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに児童の健全な教養を育成することを目的とする。

授業の調べ学習等で図書館を利用する機会はあるものの、休み時間等に本を借りに行く児童は多くない。

学校図書館の目標

学校図書館の活動を通して、幅広く読書する意欲を育て、主体的に学び続けていくための資質や能力を育成する。

ねらい

- ①環境を整えて読書意欲を向上させ、読書の習慣化を図る。
- ②読書を通じて、情報の収集や記録の仕方等の技能や、自分の考えをまとめ、表現するための思考力・判断力・表現力等を育成する。
- ③学年に応じた利用指導を系統的に行い、望ましい図書館活用の態度や技能を養う。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。
- ③ 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 各教科・領域の導入で、児童の関心を高めるために図書館を活用する。
- 各教科・領域で必要な情報の収集及び課題の解決を図るために進んで図書館を活用する。

〔読書科〕

- 教育課程全体を通して、計画的な朝読書や読書活動を推進する。
- 読書科ノートを適宜活用し、授業を展開させる。

〔総合的な学習の時間〕

- 児童が関心をもって活動したり、情報を収集したりするようパソコン室や各教室のICT機器を、学習の場面で有効かつ適切に活用する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科 道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 保護者による図書整備ボランティアの活動。
- 図書支援員を通じ、公立図書館と連携する。

朝読・昼読の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実